

婦人スポーツグループ紹介 気持ちのいい汗流しませんか

◎早通北バレークラブ

私たちは、唯一、昼間練習しているママさんバレーボールチームです。スポーツって皆さんいいですよ。汗をかいて、大声を出して、笑って、くやしがつて、自分をおもいっきり出せる場所だと思いませんか。ママさんはこれがなくちゃストレス解消になりませんね。



明るく、屈託のないわがチームへぜひ足を運んでください。待っています。練習日 毎週火曜日(但し変更の場合あり) 午前十時三十分
会場 総合体育館
申し込み・問い合わせ
佐藤 貞子 ☎三六八四八〇三

◎豊栄エアロビクスクラブ

ストレス解消に運動したいけれど一人では続かない人、この機会にあなたもぜひトライしてみませんか。息をすって、はいて、きれいな酸素を身体の中にとり入れて気分リフレッシュ。無理をせず、長く楽しもう。が私たちサークルのモットーです。教えてくださるのは、新発田の熊倉和子さん。二児のステキなママ先生。



上下動きやすい服装ならなんでもOKです。一緒に気持ちのいい汗をかいてみませんか。練習日 毎週金曜日午前十時三十分
会場 武道館
申し込み・問い合わせ
鳴海 裕子 ☎三八七三二八三

◎ソフトバレーボールクラブ
それぞれのグループは、世代の違う人やいろいろな職業の人が集まるので、練習に行くのも楽しみです。



ソフトバレーボールについて簡単に説明すると、バドミントンコートを使って四人対四人でバレーボール六人制とほぼ同じルールで戦う競技です。ボールが大きく軟らかいので、手を痛めることもなく、誰にでも気軽にできるスポーツです。市内にもいくつかのグループがあります。

○豊美会
練習日 毎週木曜日午前十時三十分
会場 総合体育館
申し込み・問い合わせ
磯辺せつ子 ☎三八七二六〇九
○キッチンファイターズ
練習日 毎週火曜日午前十時三十分
会場 総合体育館
申し込み・問い合わせ

齊藤由紀子 ☎三六八四一〇一七
○ソフト
練習日 毎週火曜日午前十時三十分
会場 総合体育館
申し込み・問い合わせ
前田 晴子 ☎三八七五〇三〇

◎テニスクラブ・ンキーズ
私たちのクラブは、世界一のプレーヤーを目指して張り切っているハッスルママです。

実は、日ごろ運動を行うことが少ない私たちは、このときとばかりに猛ダッシュ。ボレー、スマッシュ、サーブと汗を流し、テニスの技術習得と健康づくりに頑張っています。私たちがいっしょにプレーを楽しみませんか。

練習日 毎週水曜日(但し変更の場合あり) 午前十時三十分
会場 総合体育館(夏場屋外コートの使用有り)
申し込み・問い合わせ
竹田真理子 ☎三六八一六〇〇



婦人大会からイメージチェンジ

「おおらかに語ろう、私たちの可能性をテーマに活発なパネルトークが行われました。」

パネラーは、次の方でした。
連合新潟女性委員会事務局長

後藤潔子さん
ブルネイの民間外交官

須田麗子さん
(中国名 邵麗紅)

新潟まごころヘルプ

野崎トシ子さん
新潟県女性センター協議会理事
(コーディネーター) 田中カツイさん

トークのなかでは、高齢化社会における介護の問題、嫁姑の問題、国際的な花嫁問題、働く女性でありながら地域人としてのぶつかり等について問題が出されました。どの問題も男女が一緒に考えなければならぬ問題であり、各人の生き方、生き方づくりが大切であることが提言されました。

これからの社会は、男と女、高齢者と若い世代等異なるものであり、「それぞれを生かし一緒になって生きていかなければならないのではないか」「模範的な生活ではないか」「これからは市民が一緒になって生きていく方向を考えていきたい」という問題が提起されました。



パネルトーク
おおらかに語ろう私たちの可能性
▶イメージチェンジをして再スタートをした、豊栄市女性フォーラムが、二月七日(日)中央公民館を会場に開かれました。

「夢を船にのせてー素晴らしい明日への旅立ち」と題したピースポート(アジア諸国を中心に戦争の跡を訪ねる船を出す平和運動)代表辻元清美さんの講演が女性フォーラムの後行われました。

- ①夢にこだわって生きていたい。
- ②ちょっと背伸びして生きていたい。(チャレンジしたい)
- ③自分で判断できる人になりたい。(世の中のことにについて説明できるだけでなく自分の意見を持ちたい...)

を信念に活動している辻元さんは、一九八二年の教科書問題でショックを受けて史実を確かめようと十年前にピースポート'83を企画し、それ以降国際民間交流を進めてい

生き生き文化講演会

「現代の情報化社会においては、情報内容を自分で実際に確かめることができず、判断することが難しくなっています。これを克服するためには自分から出かけていくしかない」と決意し、若い女性、金がないの三重苦を乗り越え、ピースポートの活動を続けています。

「発想を変える、視点を変え、と新しい可能性が見えてくる。自分を身重にせず、身軽にし、さまざまなことにチャレンジしてほしい」と聴衆に熱いエールを送りました。

「将来は、地球山手線のような世界一周の船を走らせてみたい」と夢を語り、聴衆をわくわくさせました。

皆さんも

自分の可能性に

チャレンジ

してみてください



▶夢を語る辻本さん